1. 計画名称

茅野市産業振興ビジョン

2. 計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	おおむね順調	説明	<p>(R5評価) 就職説明会は、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことに加え、ターゲットの見直しや開催回数を増やしたことにより、参加者数が増加したが、インターンシップは思いのほか、伸びなかった。学生へのアプローチ方法は検討すべきである。</p> <p>(総括評価) 諏訪地域の求人倍率は減少傾向にあるが、人手不足は深刻な状況にある。労務対策協議会の合同就職説明会の開催はリクナビ等のサイトよりも確実性が高いことから、企業にとっての期待感はある。</p>
今後の重点化施策番号	1	説明	<p>大手企業を中心とした採用型インターンシップの解禁に伴い、学生の内定率が高まる中、地方の企業の魅力発信とPR方法について工夫が必要である。個々の企業の採用活動に限界がある中、広域の協議体組織のメリットを活かした発信方法を検討していく。地域職業相談室や就活マッチングカフェ等と連携しながら新たなマッチング機会を創出していく。</p>

3. 各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	産業人材の確保、育成	おおむね順調	<p>(R5評価) ・就職説明会は、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことに加え、ターゲットの見直しや開催回数を増やしたことにより、参加者数が増加した。また、就職相談人数は昨年度並みとなっており、雇用対策の機能は維持できている。</p> <p>・茅野市勤労者互助会は、事業所への周知等を継続し前年度とほぼ同数となった。</p> <p>(総括評価) ・令和2年からは新型コロナウイルス感染症の影響もあり、就職説明会等の開催が制限されることもあったが、オンライン開催などにより、雇用対策を継続し行えた。地域職業相談室の相談件数は安定しており、雇用機会の下支えとなっている。</p> <p>・茅野市勤労者互助会は、事業所への周知等により計画策定時の数値を維持できているものの、見込んだ数値は達成できなかった。</p>	<p>(R5・総括評価共通) ・生産年齢人口の減少等から引続き労働力不足が全国的な課題となっており、効果的な事業実施が課題である。</p>	<p>(R5・総括評価共通) ・合同説明会等の新卒採用市場において、事業者の多くが苦戦し、また、人材不足が表面化してきていることから、労務対策協議会との連携強化や広域の協議体組織のメリットを活かした発信方法を検討する。</p> <p>・令和5年度から就職説明会の回数を増やし、参加者の増加に繋がっている。</p>
2					
3					
4					
5					

※5つ以上の場合は裏面へ

4. 関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

	主な意見	市の考えや対応など
<p>関連市民団体等名称 産業振興ビジョン推進委員会</p> <p>開催回数</p> <p>参加延べ人数</p>	<p>第3次産業振興ビジョンは6次総の策定に準じて策定することになるため、改定作業時に、改めて意見集約と総括を行いたいと考える。</p>	<p>令和6年内に第3次産業振興ビジョンの推進委員会を開催する。※第3次産業振興ビジョンは6次総の策定に準じて策定することになるため、改定作業時に、改めて意見集約と総括を行いたいと考える。</p>
<p>関連市民団体等名称</p> <p>開催回数</p> <p>参加延べ人数</p>	<p>主な意見</p>	<p>市の考えや対応など</p>
<p>関連市民団体等名称</p> <p>開催回数</p> <p>参加延べ人数</p>	<p>主な意見</p>	<p>市の考えや対応など</p>